

解 答	1 (C)	2 (B)	3 (A)	4 (C)	5 (B)	6 (B)
	7 (D)	8 (A)	9 (D)	10 (B)	11 (A)	12 (B)
	13 (B)	14 (A)	15 (D)	16 (A)	17 (B)	18 (B)
	19 (A)	20 (A)				

1. 「自転車に鍵をかけないでおくなんて君は馬鹿だな。盗まれたことには驚かないよ」
 ▶ It is + 形容詞 + for A(人) to doの構文が変形したものと考えるとわかりやすい。
 形容詞が人の性質などを表す場合(ここではstupid)には、forの代わりにofを用いる。

□ It is ... of A to do 「～するとはAは…だ」

- ▶ It isの後に人物評価を表す形容詞が続く場合、不定詞の意味上の主語はof Aで表す。

It was careless of you to make such a mistake.

(そんな間違いをするなんて、君は不注意だったね。)

人物評価を表す形容詞には、次のようなものがある。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> kind/good/nice 「親切な」 | <input type="checkbox"/> polite 「丁寧な」 |
| <input type="checkbox"/> rude 「無礼な」 | <input type="checkbox"/> brave 「勇敢な」 |
| <input type="checkbox"/> smart/clever/wise 「賢明な」 | <input type="checkbox"/> foolish/silly/stupid 「愚かな」 |
| <input type="checkbox"/> careless 「不注意な」 | |

2. 「全員がもっと注意深く指示を聞いていたなら、こんなに多くの間違いを犯さなかっただろうに」

- ▶ 主節にwould not have madeとあるので、**仮定法過去完了**が用いられていると考える。

■ 仮定法過去完了：「もし～だったなら、…だったろうに」

仮定法で過去完了形を使った場合には、過去の事実とは違うと思っている事柄を表すことになる。これを仮定法過去完了と呼ぶ。

If + S + 動詞の過去完了形, S + would [could, might] + have + 過去分詞

〈助動詞の過去形 + have + 過去分詞〉という形を確認。

- (1) If I had left ten minutes earlier, I would not have missed the train.
 (もし10分早く出発していたら、列車に乗り遅れることはなかっただろうに)
- (2) She would have died if the climber had not found her.
 (もしその登山者が彼女を見つけていなかったら、彼女は死んでいただろう)

3. 「病気のため、多くの学生が月曜日の授業を欠席した」

- ▶ (A) due to ~ 「～のために / ~ が原因で」と (D) for the sake of ~ 「～の(利益の)ために」の違いに注意。両者とも「～のために」と訳されることがあるので紛らわしいが、区別をしっかりとつけておこう。

□ due to ~ 「～のために / ~ が原因で」

I was half an hour late due to the heavy traffic.

(車が多かったので、半時間遅れました。)

- ▶ due to ~ は群前置詞としての用法のほかに、**be due to ~ 「～のため[せい]である / ~ による」**の形も押さえること。

His big success was due to his patience and diligence.

(彼の大成功は忍耐と勤勉によるものである)

□ for the sake of ~ 「～の(利益の)ために / ~ を目的として」

He gave up smoking for the sake of his health.

(彼は健康のためにタバコをやめた。)

- ▶ for A's sakeの形もある。

I lent money to your wife for your sake.

(君のために[君を助ける目的で]奥さんにお金を貸してあげたんだよ)

□ **in spite of** ~ 「~にもかかわらず」 (= **despite** ~)

□ **regardless of** ~ 「~にかかわらず/~にかまわず」 (= **in spite of** ~)

4. 「その委員会の全員、委員長を含めて皆がその計画はあまりに困難であると考えた」
▶ (with) the head included 「委員長を含んで」という付帯状況の分詞構文。(D)ならば including the head という語順でなくてはならない。

付帯状況の with

「**with** + **A**(名詞) + **分詞**」の形で「Aを~(の状態に)して」という意味を表す。このような表現を『付帯状況の with 構文』という。

A と分詞の関係が **能動**なら **現在分詞 (doing)**、**受動**なら **過去分詞 (done)** を用いる。

with her hair waving 「髪をなびかせて」

with his arms folded 「腕を組んで/腕組みをして」

補足 分詞の代わりに形容詞、副詞、場所を示す句などを用いて付帯状況を表すこともある。

with your mouth full 「口に食べ物をほおぼって」 [形容詞]

with her socks on 「靴下をはいて[はいたまま]」 [副詞]

with tears in her eyes 「目に涙を浮かべて」 [場所を示す句]

- ▶ (A)include 「~を含む」, (B)inclusive 「すべてを含んだ」, (D)including 「~を含めて」
5. 「テレビゲームの問題は、その誘惑に負けた子供たちが勉強から遠ざかる可能性があることだ」
▶ The trouble は単数形の名詞なので、動詞は is を用いる。can の実質上の主語は video games 「テレビゲーム」であるはずなので、they で受けるべき。
- **away from** ~ 「~から離れて[た]/去って/遠くへ」

He's away from his desk now.

((電話で)彼は今あいにく席をはずしています。)

a village 5 miles away from here

(ここから5マイル向こうにある村)

6. 「ジェイコブは先週の金曜日からずっと病気だ」
▶ has been という現在完了の表現があるので、(B)since 「~以来」が適切。
7. 「私たちは夏休みにハワイかシドニーのどちらへ行くべきか話し合った」
▶ or があるので、whether A or B 「AかBか」という表現が用いられているとわかる。discuss は他動詞なので、直後に about や on などはない。
- **discuss** ~ 「~について議論する」 (= **talk about** ~)
▶ 他動詞用法のみの動詞なので前置詞は不要。(× discuss about ~)
- **whether A or B** 「AかBか」

Could you tell me *whether* you like Japanese cars *or* American cars?

(日本の車とアメリカの車のどちらが好きか教えてくださいませんか)

8. 「私はテレビを見ている最中に眠りに落ちていた」
▶ 空所の後には文が続いているので前置詞である (C)during は不可。「~と同時に、~している間に」という意味の接続詞 (A)while が正解。

■ 接続詞 while と前置詞 during を用いた文との書き換え **【類出】**

while S + V = during + 名詞(句) [×動名詞(句)] (×during my staying)

While I was staying in London I visited the Tower.

= *During my stay* in London I visited the Tower.

(私はロンドン滞在中にロンドン塔を訪れた。)

□ **fall asleep** 「(ぐっすり)寝入る; 永久の眠りにつく」

I fell asleep on the train and went past my station.

(私は電車の中で寝入ってしまい、駅を乗り過ごした。)

9. 「自分の誤りを悟り、ジョンは両親に謝ろうと決心した」
- ▶ his mistakeは目的語と考えられるので、空所には能動態の動詞が入る。分詞構文なので現在分詞の(D)が適切。
 - **decide to do** 「～することに決める」 (= make up one's mind to do)
 - **apologize to A for B** 「AにBのことで謝る」
 - ▶ 自動詞用法のみなので、謝る相手にはto、理由にはforが必要。
 - Will you *apologize to him for what I have done?*
(私がやってしまったことを彼に謝ってくれませんか。)
10. 「なぜ彼を叱っていたの。必要のないことに思えるんだけど」
- **What ~ for?** 「何のために~/なぜ～」 (= **Why ~?**)
 - ▶ 疑問代名詞whatは前置詞forの目的語で、「何のために」という意味になる。
 - What are you following me *for?*
= Why are you following me?
(なぜ私の後をつけてくるの。)
11. 「エリが交通事故を目撃したとき、彼女は犬と一緒に道路に沿った道を散歩していた」
- ▶ walk along the road[street] 「通り沿いに歩く」 alongは前置詞で「～に沿って」の意。
 - ▶ (A)along 「～に沿って」, (B)round 「～の周りに」, (C)at 「(地点・場所)～に、～で」, (D)through 「～を通り抜けて」
12. 「その事故に関係した全ての関係者に聴取を行ったのち、法廷は船が沈んだ責任が誰にあるのか決定を下すだろう」
- ▶ (A)fault 「～を非難する」, (B)blame 「(…ということ)～をとがめる」, (C)accuse 「～を告発する」, (D)judge 「～を判断する」
 - **be to blame for ~** 「～に対して責めを負うべきである/責任がある」
 - He *is to blame for* the accident.
(= He **is to be blamed** for the accident.)
(その事故の責任は彼にある。)
13. 「ダニーはジムが運転試験にまた落ちたと私に告げた」
- ▶ driving test 「運転試験」 failは他動詞で「(試験など)に落ちる、～に失敗する」の意。
 - ▶ (A)certificate 「証明書」, (B)test 「検査、試験」, (C)licence 「許可、免許証[状]」 (D)qualification 「資格、資格証明書」
14. 「申し訳ありませんが、フィンリー医師は今日これ以上診察を行わないでしょう」
- ▶ 「医者に診てもらおう」という意味の場合は、see[consult] a doctorの両方が可能だが、医者が「患者を診る」という場合にはseeしか使えない。
- 『医者に診てもらおう』

 - **see** 「～を診る/～と会って相談する」
 - You look pale. Go and *see the doctor.*
(顔色が悪いね。医者に診てもらいなさいよ)
 - **consult** 「(医者)に診察してもらおう」 ⇔ **seeより堅い語**
 - If symptoms persist, *consult a doctor* without delay.
(症状がおさまらないようなら、すぐに医者に診てもらいなさい)
15. 「私はテレビで野球の試合を見るため、仕事からまっすぐ家に帰った」
- ▶ (D)straightは副詞で「まっすぐに」の意。
 - ▶ (A)direct 「直接の」, (B)fast 「速く」, (C)immediate 「即時の」
16. 「ねえ、昨日の夜どこに行ってたか当ててみて！」
- ▶ やや高度な問題。Guess where I went last night! 「昨日の夜どこに行ってたか当ててみて!」という会話を切り出す表現と考える。直接この表現を知らなくとも、Guess what! 「あのねえ」を知っていれば、そこから類推できる。

□ **Guess what!** 「あのねえ/想像してごらんよ」

▶ 意外な話の切り出しに用いる。

Jane! *Guess what!* I bumped into Nancy on the street yesterday.

(ジェーン、あのねえ。昨日、通りでナンシーにばったり出くわしたんだ。)

17. A 「昨晚、テレビでジェームス・ボンドの映画を見た？」

B 「ううん、見逃したわ。面白かった？」

■ **miss**の様々な意味

▶ **miss**は基本的には「(意に反して)~しそこなう」という意味である。目的語によっていろいろな訳し方をする。

(1) 「(列車・バスなど)に乗りそこなう/乗り遅れる」

(⇔ **catch** 「(列車など)に間に合う」)

You'll *miss* the bus if you don't hurry.

(急がないとバスに乗り遅れますよ。)

(2) 「(物)を見つけそこなう/見落とす」

The post office is on the corner. You can't *miss* it.

(郵便局は角にあります。すぐ見つかりますよ。)

(3) 「(人・物が)(い)なくて寂しく思う」

We will *miss* you badly.

(あなたがいなくなるととても寂しくなりますよ。)

18. 「ごめんなさい。わざと窓ガラスを割ったんじゃないんです」

□ **on purpose** 「故意に/わざと」 (= **intentionally** / **deliberately**)

He believes that I made a mistake *on purpose*.

(彼は私がわざと間違えたと思っている。)

19. 「車が奇妙な音を立てているよ。路肩に寄せてエンジンを点検したら？」

▶ やや高度な問題。 **pull off to the side** 「(車を)路肩に寄せる」

▶ (B) **put off** ~ 「~を延期する」, **switch off** ~ 「(電灯・テレビなどを)消す」, **start off** ~ 「~を始める」

□ **pull O₁ off O₂** 「O₁(車)をO₂(道路など)の脇に寄せる」

20. 「山で不適切な服装と靴で登山をすることは危険である」

▶ (A) **unsuitable** 「不適切な」 他動詞 **suit** が「~に適する」という意味であることから類推できる。

▶ (B) **unfavorable** 「(…にとって)好ましくない」, (C) **unworthy** 「(事)に値しない」
(D) **unexpected** 「予期しない」